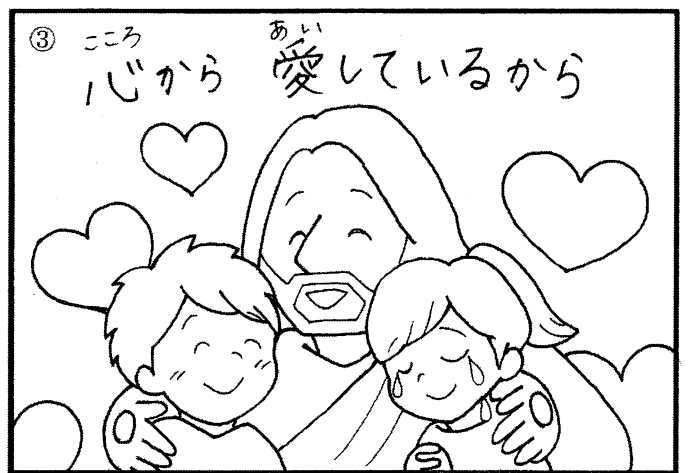
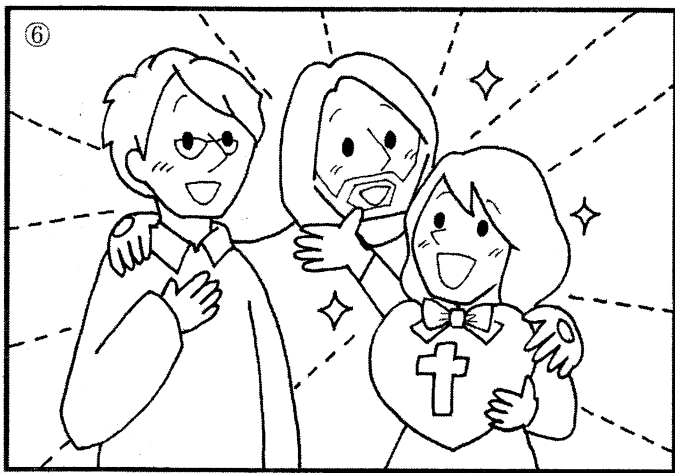
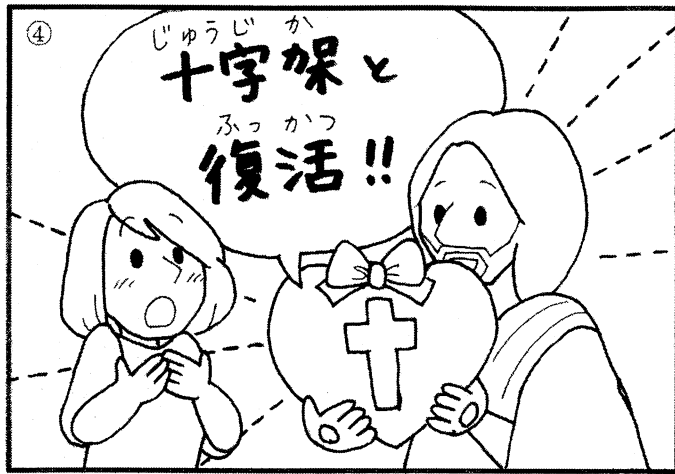


4月4日 「永遠の希望と喜び」 マタイ 28・1～10

1. 絶望が喜びに変えられた。
2. 辛い体験の後、十字架にかかったイエス様。
3. 罪をそのままにしておくなら、罪はあなたを苦しめます。
4. 悲しみのどん底に突き落とされた、婦人たちとヨセフ。
5. イエス様の復活。
6. よみがえりのイエス様の命によって、希望と喜びを頂いた男の子。

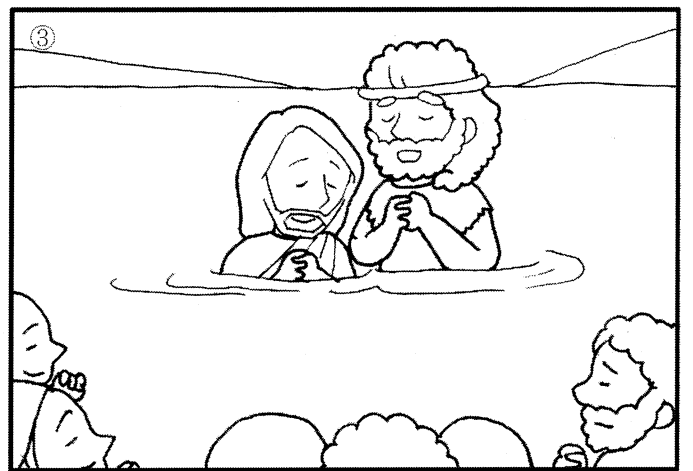
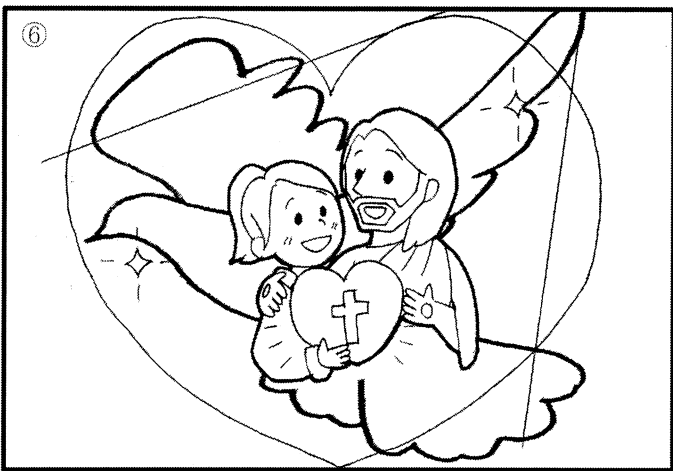
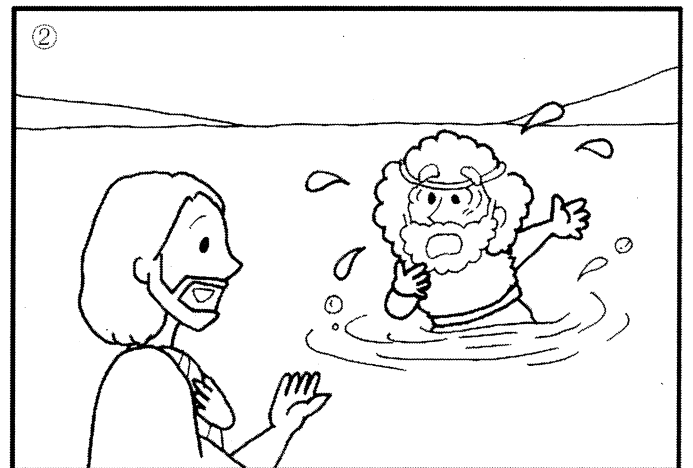
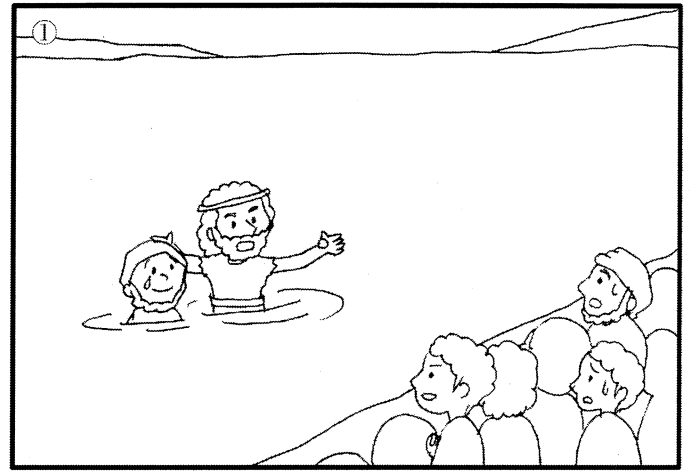
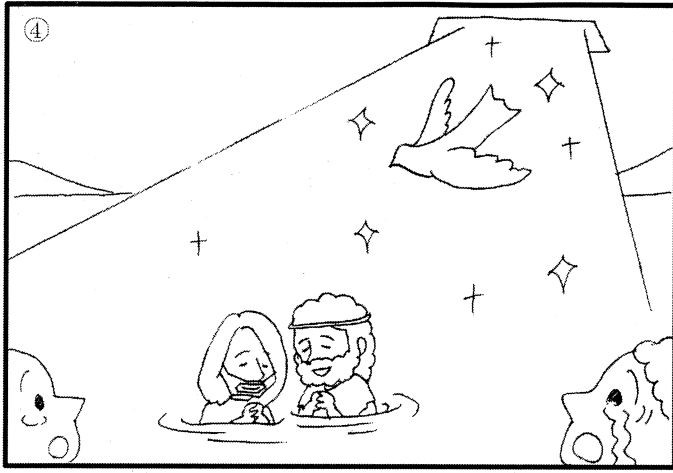
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



4月11日 「一緒にいてくださるイエス様」 マタイ 28・16～20

1. 友だちが、「これからずっと友達でいようね」と言ってくれた。
2. 「いつも一緒にいるよ」と言ってくれるイエス様。
3. みんなを心から愛しているイエス様。
4. 罪に苦しむわたしたちを自由にするために、イエス様は十字架にかかり、復活してくださった。
5. イエス様の大宣教命令。
6. イエス様と共に、喜んでイエス様のことを伝えることができる。

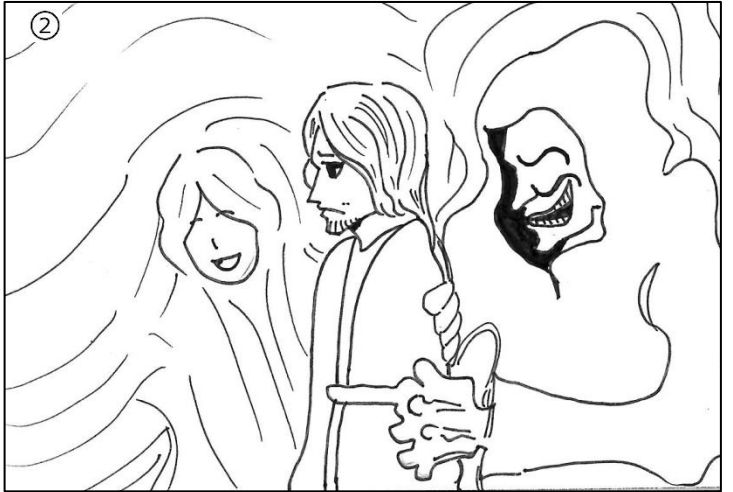
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



4月18日 「愛と喜びのうちに歩もう！」 ルカ 3・15～22

1. ヨハネがバプテスマを授けている。救い主が来られることをみんなに伝えている。
2. バプテスマを受けに来られたイエス様。ヨハネは慌てふためいている。
3. イエス様とヨハネと群衆が祈っている。
4. 天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降りた。
5. 「あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ」と父なる神様の語り掛けがあった。
6. イエス様を信じた女の子。いつもイエス様と共について、イエス様と一緒に、神様からの声と聖霊を受けて喜んでいる。

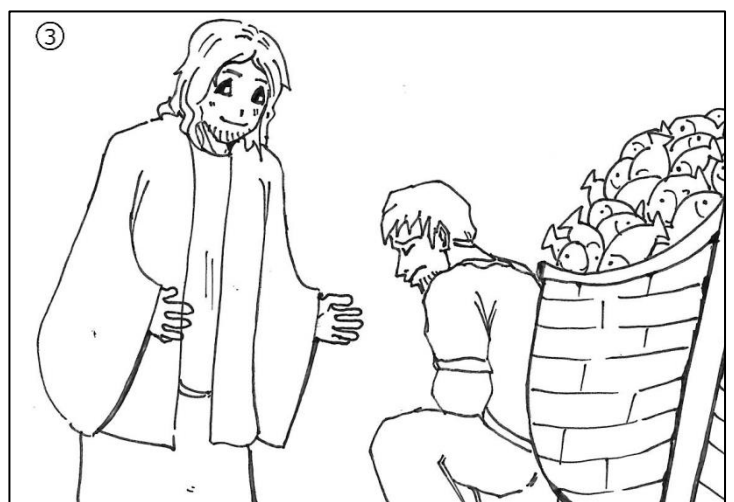
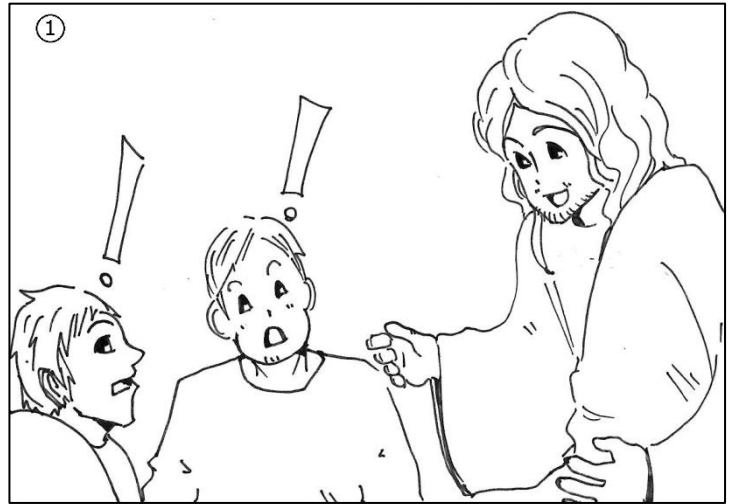
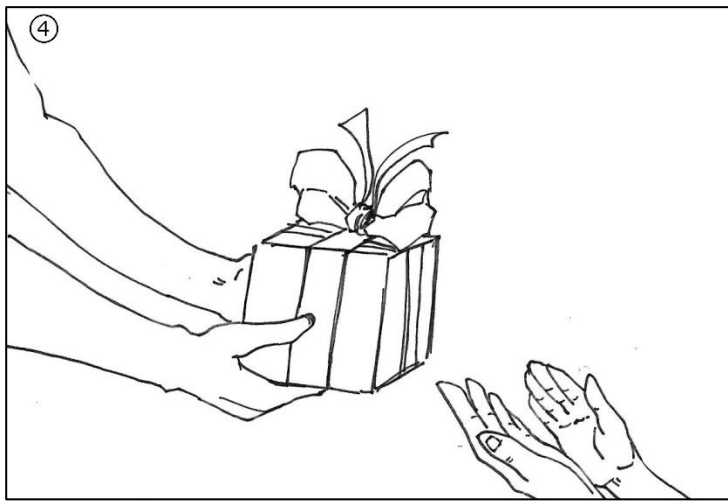
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



4月25日 荒野の誘惑 ルカ4・1～13

1. 聖書に「試み」という言葉が出てくる時、そこにはとっても深い意味が隠されています。その意味の一つは、「悪魔からの誘惑（悪い方に誘い込むこと）」です。
2. 聖書を見ると、「悪魔の試みを受けられた」と書いてあります。だから悪魔の誘惑であったことは確かです。でも、その言葉の前に「御霊によって荒野に導かれ」とも書いてあります。
3. 悪魔の本当の狙いは、みんなに悪いことをさせることではありません。神様に対する信頼を失わせ、神様の愛を疑わせようとすることです。
4. イエス様は悪魔の誘惑にみことばによって勝利しました。
5. イエス様は荒野で勝利されましたが、後で再び試みられる時がやって来ます。それは十字架にかかられる直前のことです。
6. そして今、私たちがあう試練や誘惑はみなイエス様が克服されたものばかりです。イエス様は試みにあわれて、それが主を信仰の完成者として全うさせました。

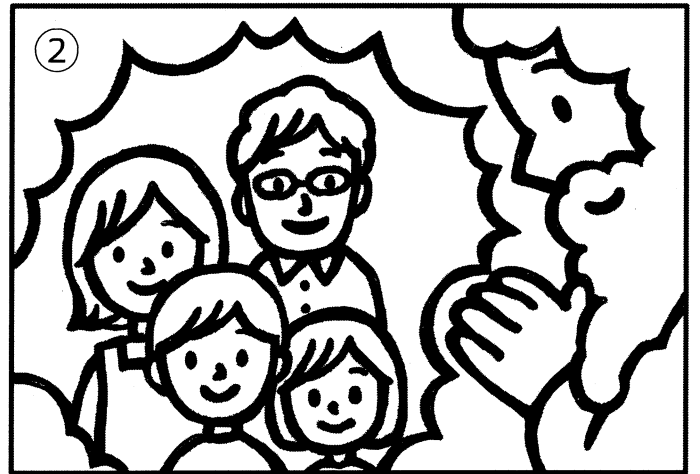
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月2日 弟子への招き ルカ5・1～11

1. 教会で使われている難しい用語の中に、「召命」とか「召し」という言葉があります。…つまりペテロの命は、イエス様に呼ばれ招かれたということです。
2. ペテロは魚を捕る漁師だったのですが、これからは人間を捕る、つまり人々にイエス様のことを伝え、人々をイエス様のもとに導く者になると告げられました。
3. ペテロは、「私は罪深い人間です」と告白しましたが、彼はなぜ自分が罪人だと知ることができたのでしょうか。それは、神の圧倒的な力を見せられたからです。
4. しかし、ここで聖書が言う「捨てる」とは、委ねるとか、明け渡すという意味なのです。…だから、大丈夫なんだ、心配しなくてもいいのだと、イエス様は約束してくださっているのです。
5. ただし、人生の中で、イエス様に従うために、自分の願いや大切なものを「捨て」なければならない時があります。その時は確かにつらいかもしれません。
6. みんなには将来の夢がありますか？大人になったらこういう職業につきたい、という願いがあるでしょうか。

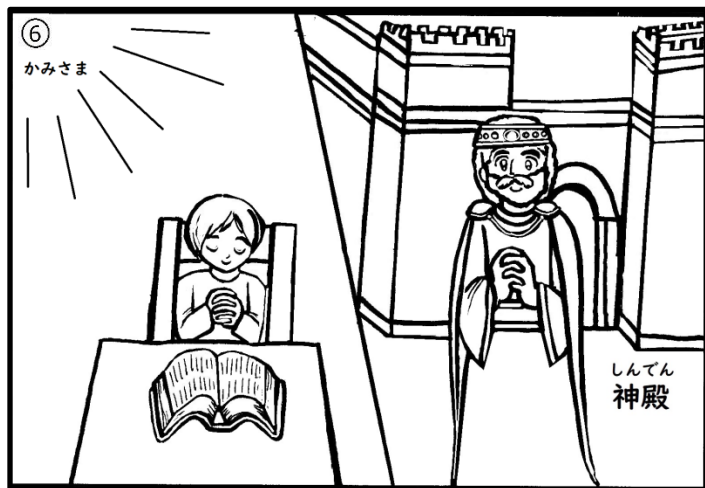
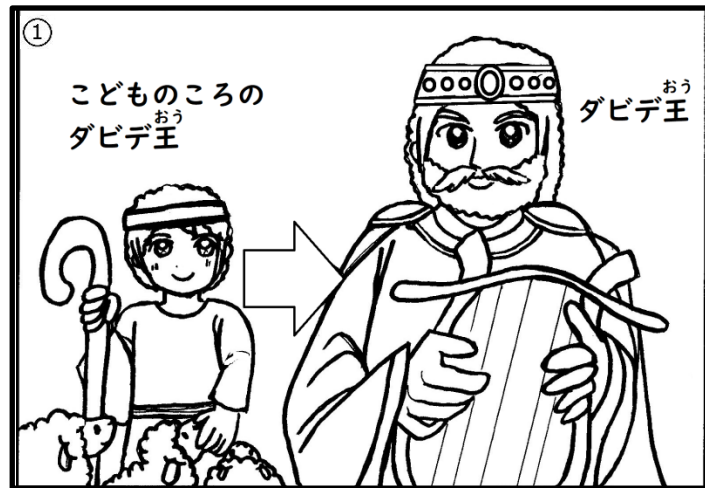
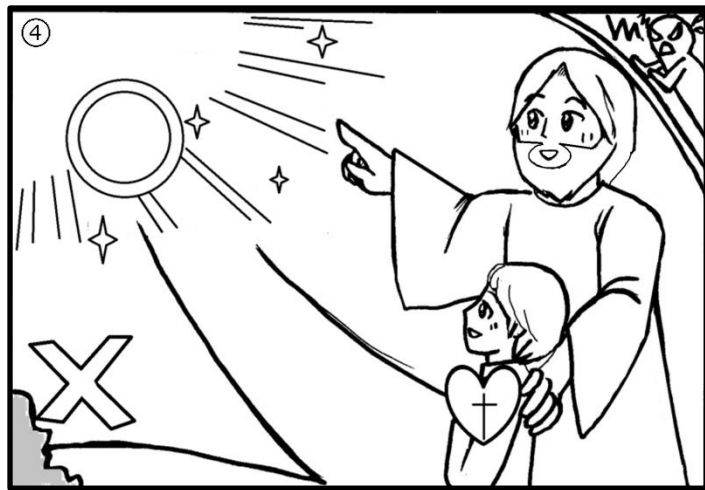
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月9日 両親に仕えるイエス ルカ 2・41～52

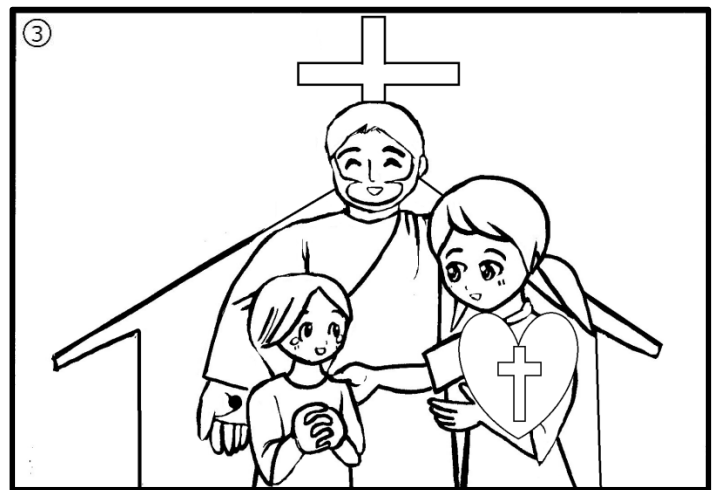
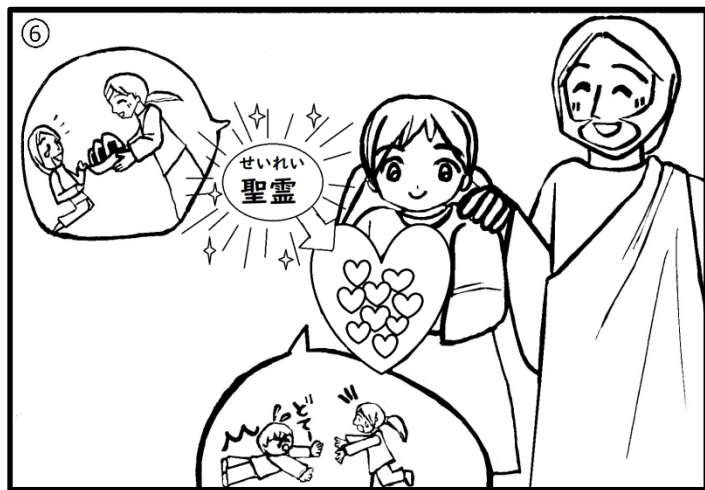
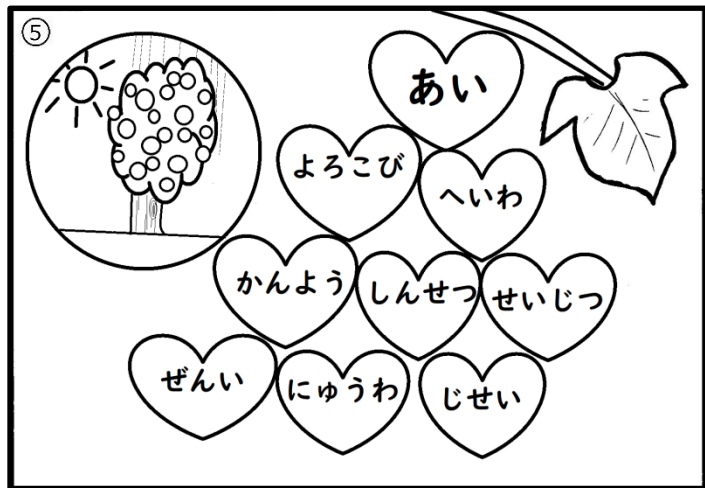
1. 今日は母の日です。
2. 人間には、二種類の親がいます。霊（魂）の生みの親である「父なる神様」と、体の生みの親である人間のお父さんとお母さんです。
3. イエス様が12歳の時、「過越の祭り」を祝うために、人間の両親であるヨセフさんとマリヤさんと一緒にエルサレムに行きました。
4. ヨセフさんとマリヤさんがふと気が付くとイエス様の姿が全然見当たりません！
5. ヨセフさんとマリヤさんは三日間も探し回り、なんとエルサレムの神殿にいたイエス様を見つけました。
6. イエス様は霊の親である父なる神様を敬い、愛し、そして人間の両親も敬い、愛していたのです。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



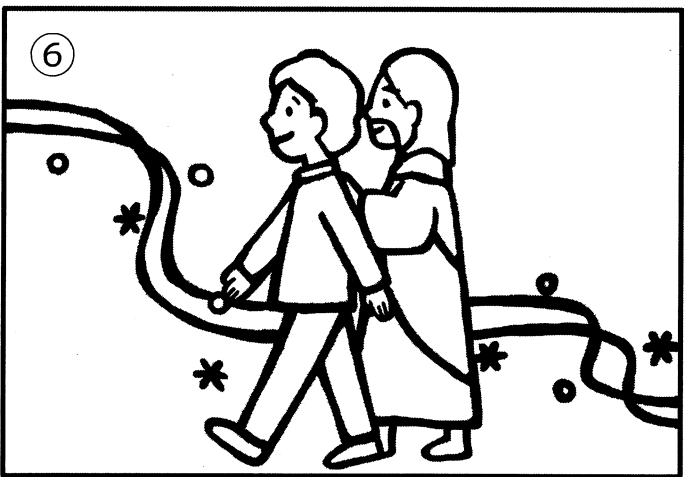
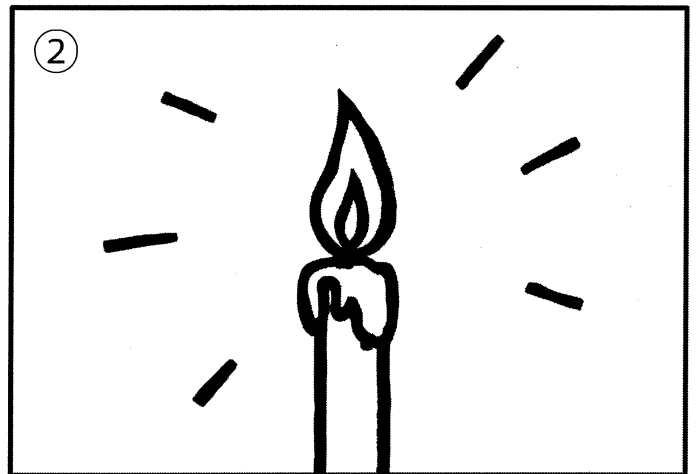
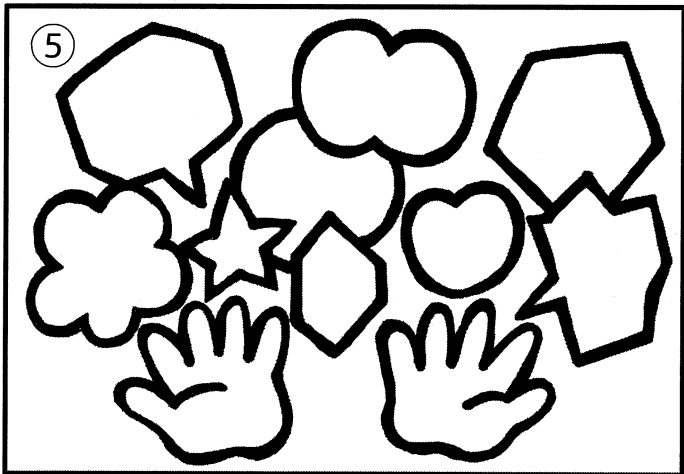
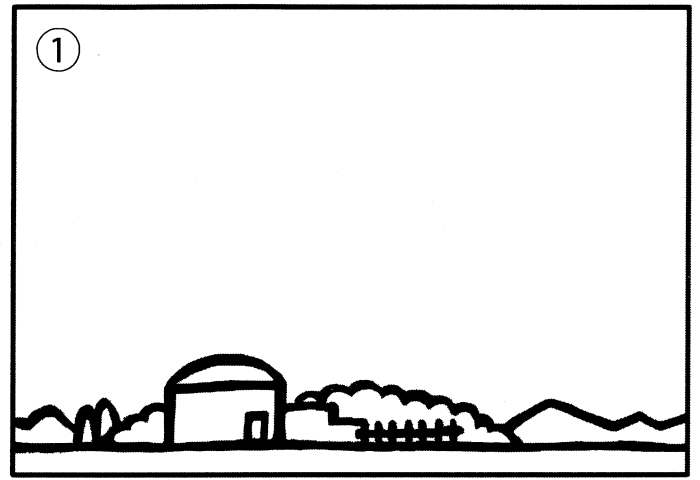
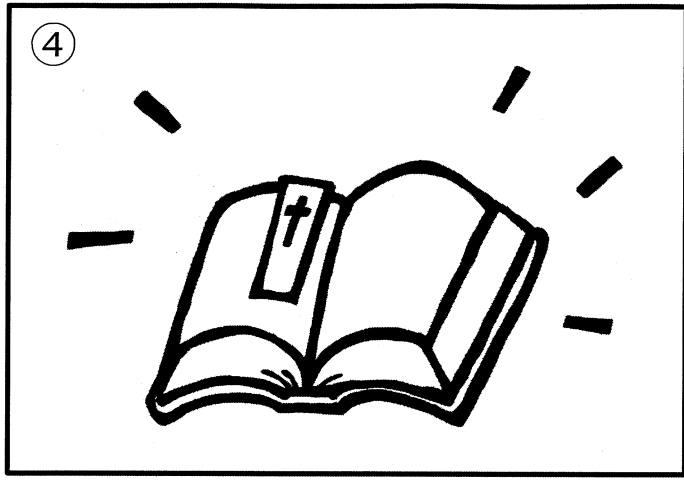
5月16日 神様はわたしの羊飼 い 詩篇 23・1～6

1. この詩の作者はイスラエルの王様ダビデです。子どものころは羊飼いをしていました。
2. ダビデは、自分は羊のように弱い者だ、羊飼いの神様がいるから乏しいこともなく、安心だということです。神様がわたしの羊飼いということも大切ですが、わたしが神様の羊ということも大切なことなのです。
3. 「死の陰の谷」。羊飼いは、危ないところを通るときにも羊を導かなければなりません。羊飼いである神様はわたしたちが大変なときも、敵を追い払うむちと杖で、わたしたちを守ってくださいます。
4. 羊飼いである神様はわたしたちが罪を犯してしまうときには、それを教えて悔い改めの道へと導いてくださいます。羊飼いは、敵から守り、大変なときにも羊といっしょにいてくださるのです。
5. 6節は、わたしたちが活着いているときはいつでも、いっくしみと恵みがわたしを追いかけてくるという約束です。羊飼いである神様はわたしたちに良いことと愛を毎日与えてくださるのです。
6. 神様の家というのは、神様といっしょにいられる場所のことです。それは、ダビデの時代は神殿でした。わたしたちにとっては、お祈りしたり、聖書を読んだり、礼拝したりして神様といっしょにということです。



5月23日 聖霊の実 ガラテヤ5・16~26

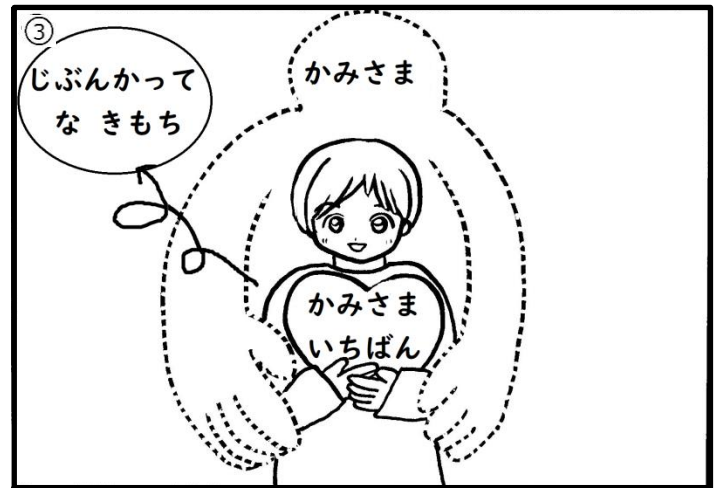
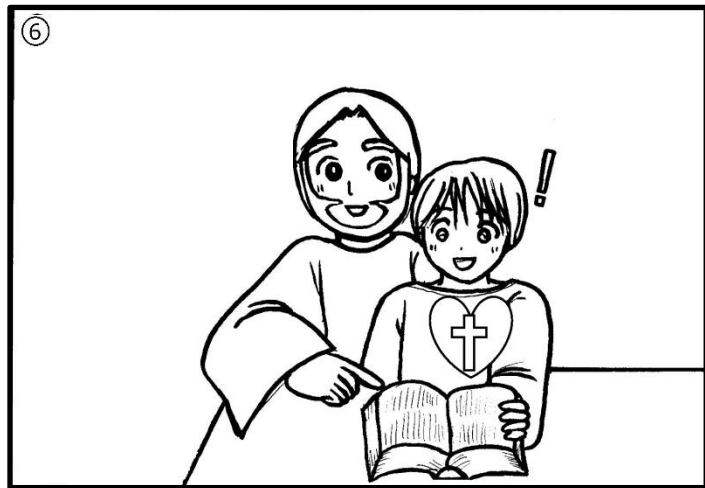
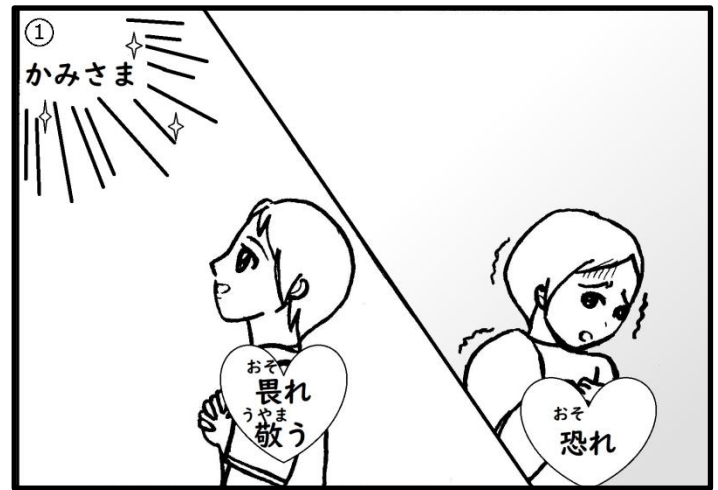
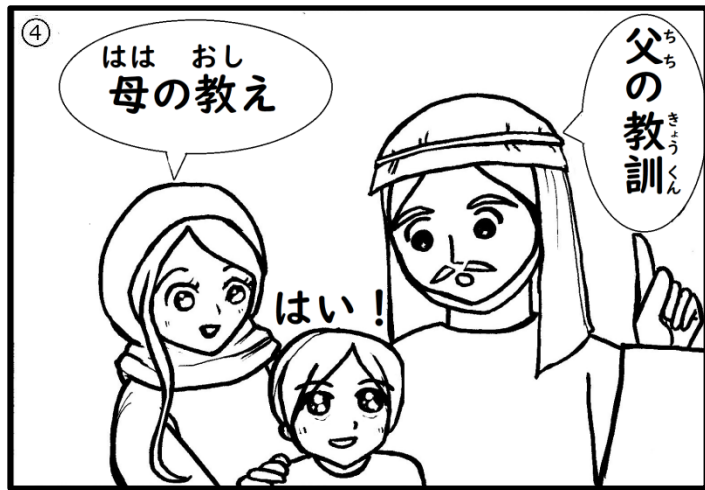
1. ペンテコステ。聖霊降臨日。弟子達は、イエス様が天に昇ってから十日間、心を合わせてお祈りをしました。
2. 五旬節の日、約束どおり聖霊がくだります。おくびょうだった弟子たちは勇気をもってイエス様を伝えるようになりました。それを聞いて悔い改め、弟子に加わる人たちが起こされ、教会が生まれたのです。
3. 聖霊はわたしたちに、イエス様に従って生きる力、イエス様を証する力をくださいます。そして、聖霊はイエス様に従う人を結びつけ、教会を生み出します。
4. イエス様に喜ばれることをじゃまする敵「肉」から、聖霊はわたしたちを肉の力から自由にして、イエス様を喜ばせることができるように助けてくださるのです。
5. いつも聖霊に助けをいただいて、聖霊にたくさんお世話してもらった人は、御霊の実、聖霊の実「愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」を結びます。
6. 聖霊は何度もわたしたちの手入れをして、実を結ぶ人にしてくださるのです。御霊の実を結ぶのは、へりくだって他の人に仕えるためです。実を結んだ私達の生活が、周りの人たちを喜ばせ、イエス様を喜ばせるのです。



5月30日 み言葉は光 詩篇 119・105～112

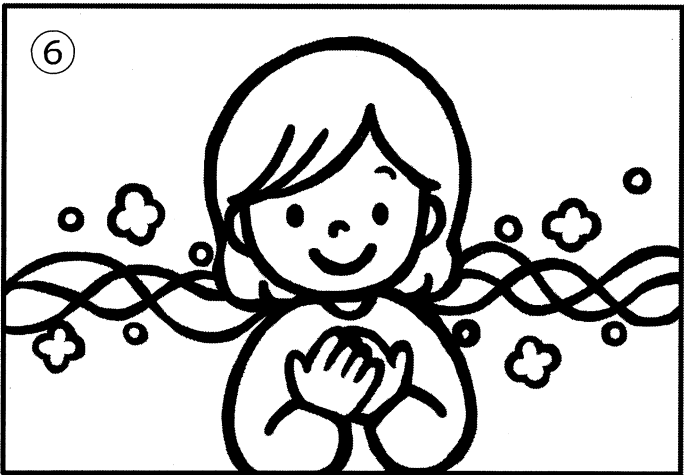
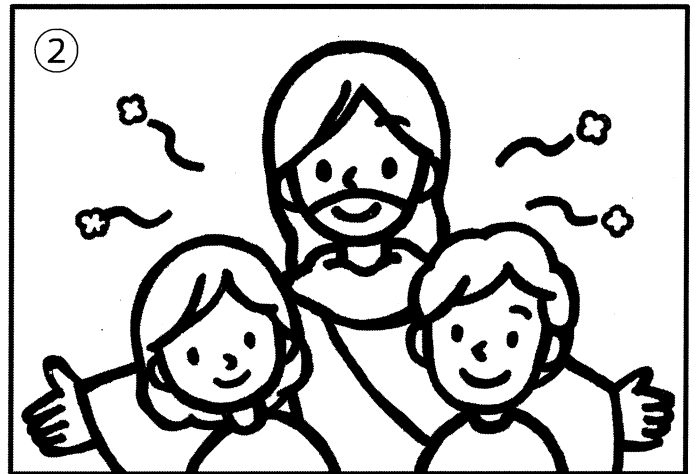
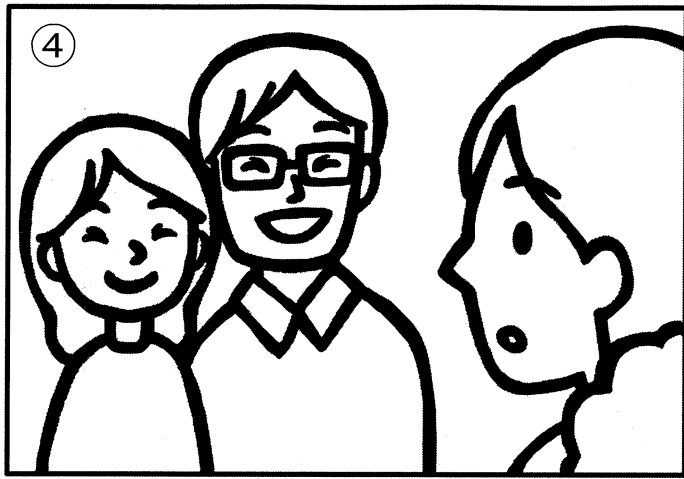
1. 真っ暗って怖いですね。何も見えなくなると、とても不安になります。
2. 私たち人間が生きていくためには、人生を照らしてくれる「光」、ライト、ともしびが必要です！
3. 「光」を持っていない人は、真っ暗闇の中を歩いているようなもので、右に行けばいいのか、左に行けばいいのか、どちらに向かって生きていけばいいかわからず、人生の迷子になっている人がたくさんいます。
4. 何が「人生を照らす光」となるのでしょうか？それは勿論、聖書に記された「神様の言葉」です。
5. 私たちは聖書の御言を一つでも多く読んで、覚えることが大切です！
6. 一人ぼっちで不安な時、色んなことが心配になる時、難しい問題にぶつかった時、イエス様はいつも一緒にいてくださいます。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月6日 主を恐れることは知識のはじめ 箴言1・7～19

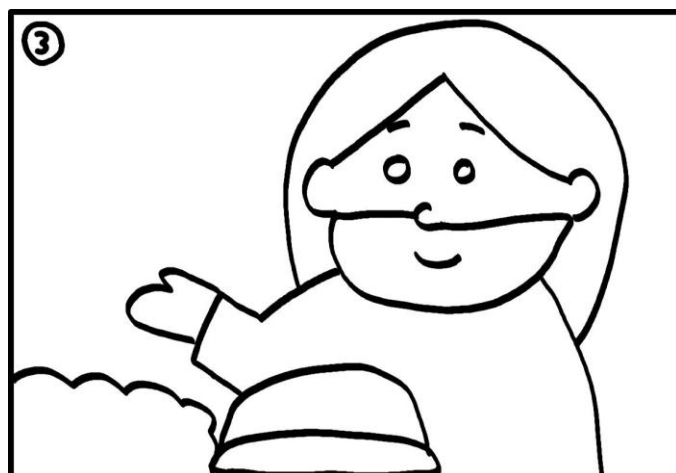
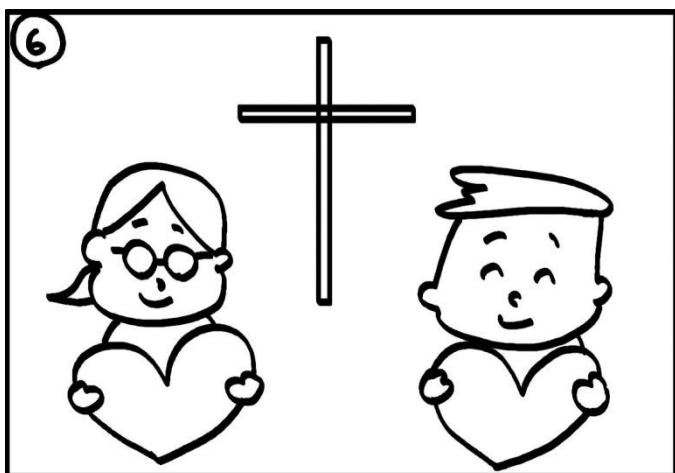
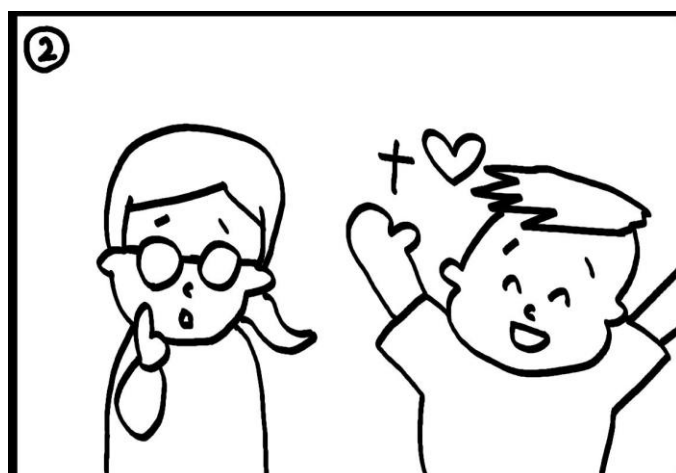
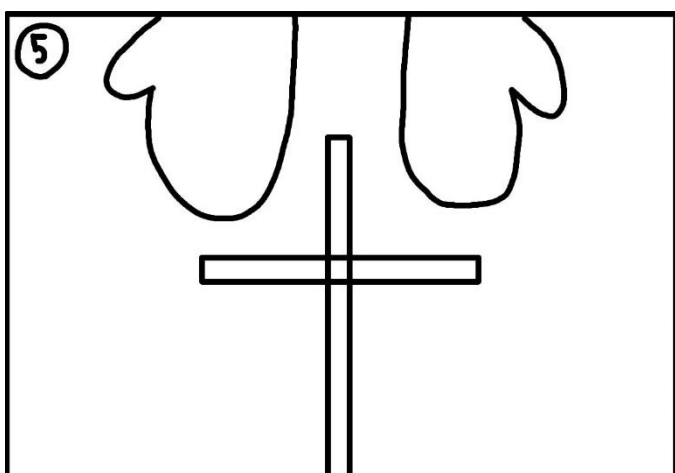
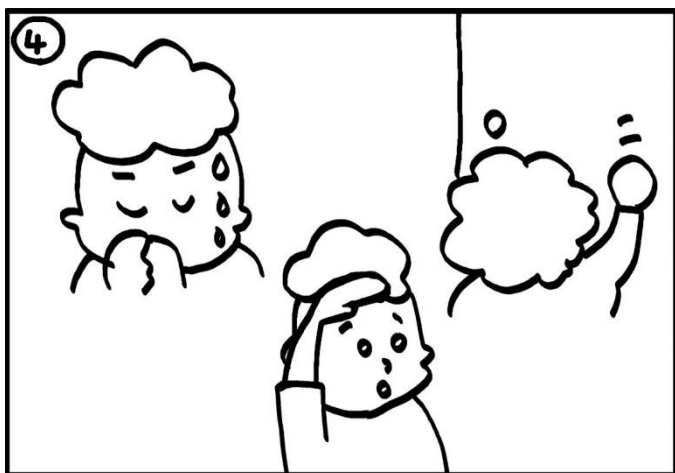
1. 「恐れる」とは「こわがる」ことではありません。「畏(おそ)れ敬う」という意味です。神様はとても素晴らしい方だから敬う、神様の前にへりくだって神様のことばに聞き従う。
2. 神様の気持ち、神様の喜ぶことがわかるようになることです。神様を畏(おそ)れ敬い、神様のことばを聞こうとする人は「神様の喜ぶことを知る知識」が与えられるのです。
3. 「神様を畏(おそ)れ敬い、神様のことばを聞こう」とはふだんの生活の中で神様を一番にするということです。
4. 「わが子よ、父の教訓に聞き従え。母の教を捨ててはならない」。イスラエルでは、お父さんもお母さんもみな神様を信じていて、神様を敬うことを、毎日の生活の中で子どもたちに教え、訓練しました。
5. 自分では神様の喜ぶことがしたい、聖書のことばを守りたいと思っても、じゃまが入ることがあります。それは、悪い誘い、誘惑です。そういう人の仲間になってはいけない、ときょうの聖書には書かれています。
6. 神様はいつもわたしたちといっしょにいて助けて下さいます。わたしたちもいつも神様といっしょにいて、神様をいちばんにしたいですね。主をおそれる人がいちばん神様に助けてもらえる人なのです。



6月13日 キリストの香り II コリント 2・12～17

1. イエス様は、私たちを「フラワーガール」、「フラワーボーイ」のように用いてくださいます。
2. イエス様の香りを放つって、どういうことでしょうか？
3. 色んな事でいつも心に不安や孤独を抱えている女の人がありました。
4. ある時、家の近くの教会から、牧師先生とその奥さんがご挨拶にやって来られました。
5. 牧師先生ご夫婦の心の中にあった、「喜び」や「信仰」や「愛」が、イエス様のことを知らせる「いい香り」となったのです。
6. 心の中にイエス様という「花」を持っているなら、心の香りはちゃんと伝わるものなのです。

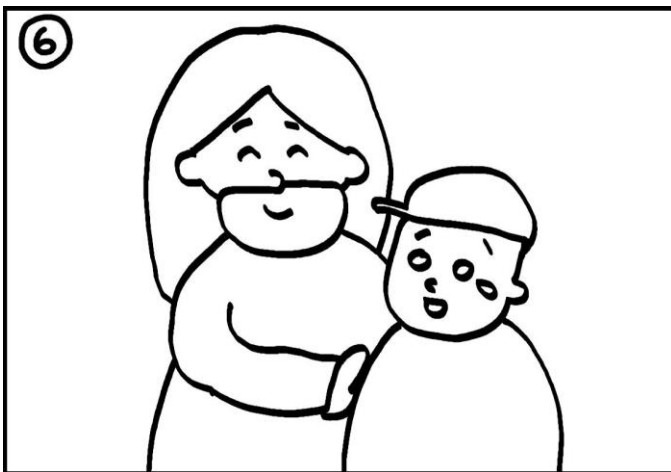
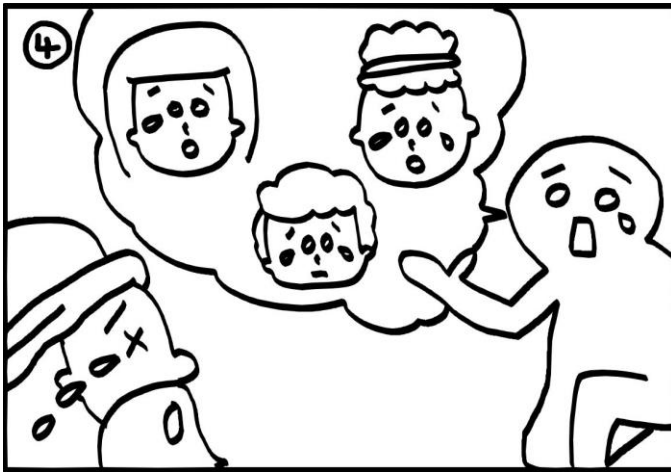
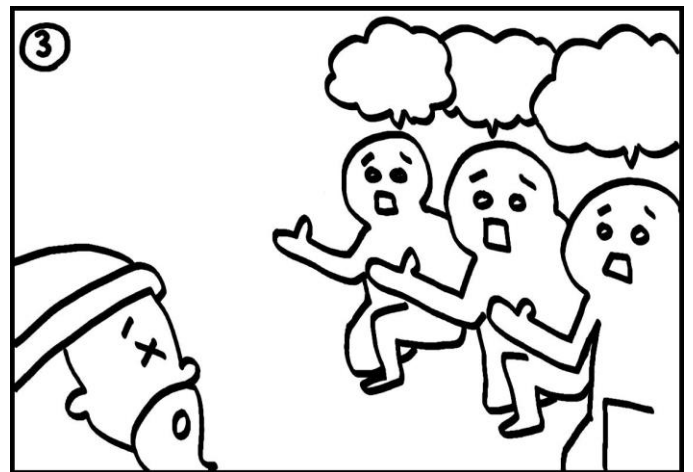
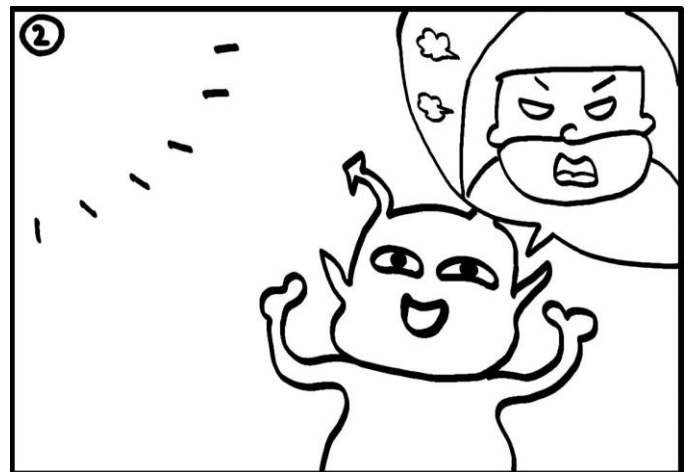
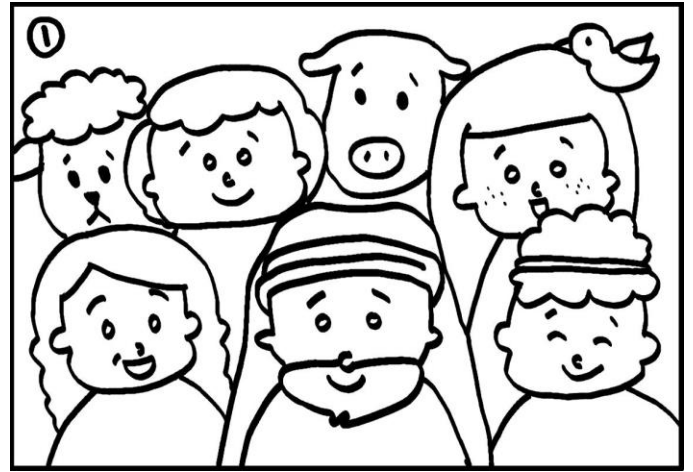
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月20日 「天の父への祈り」 マタイ7・7～12

1. お祈りとは神様とお話することです。まずお聴きすることです。
2. 神様はわたしたちのどんな反応も喜んでおられます。
3. イエス様は弟子達にお話しになりました。
4. それは「求めなさい」「探しなさい」「叩きなさい」というお話でした。
5. 神さまはイエス様を与えてくださるほど私たちを愛してくださっています。
6. すべては神様に与えられたものです。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



6月27日 「ヨブ」 ヨブ1・1～22

1. ヨブはたくさんの家族、たくさんの財産を神様から与えられていました。
2. 天上の会議でサタンは神様にヨブの財産を奪うことを提案します。
3. 使者たちが次々にヨブのもとに来て、家族と財産が災難にあったことを告げます。
4. 最後の使者がヨブのもとに来て、息子や娘たちが壊れたお家の下敷きになったことを告げます。
5. ヨブは悲しみをあらわにしつつ、神様を礼拝しました。
6. 悲しいことがあっても、神様は必ず慰めを用意してくださっています。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。